

シンポジウム

“安保法制でなにが壊されようとしているのか” — 政治・経済・平和

3月29日、安全保障関連諸法が施行されました。多くの国民が説明不足と感じ、大半の憲法学者が憲法違反だと指摘しているにもかかわらず、いまだに政府は国民の不安や疑問にこたえる丁寧な説明をしていません。それどころか、野党5党が共同提案している廃止法案に対する審議に応ずる姿勢を全く示していない不誠実な態度に終始しています。

実際、この法体制が私たちのこれからの暮らしにどのような影響をもたらしていくのか、各界のパネリストから問題提起をいただき、この法体制と私たちはどう向き合っていくべきか、考えたいと思います。

と き 5月14日（土）

14時～16時30分

ところ 『ぴゅあ富士』大研修室

（都留市中央3-9-3 都留ふるさと会館隣接）

パネリスト 後藤 道夫 氏

（都留文科大学名誉教授）

<経済、社会福祉、貧困>

宮本 和子 氏 （山梨大学）

<国際平和、NGO活動>

コーディネーター 横田 力 氏 （都留文科大学）

主催 安全保障関連法に反対する山梨学者・大学人の会



<問合せ先> 080-9200-4294 河村 まで

※事前予約なしで、どなたでも参加いただけます。

※当日資料代として受付で500円いただきます。

※同種の企画を5月29日（日）午後2時から甲府市の「国際交流センター」においても行います。

◎ この会への賛同者を募っています。

PC、ネットから「山梨学者・大学人の会」で検索いただくか、山梨大学教職員組合のホームページに入り、登録フォームからサイン下さい。